

# スーパーなまず 放送設備接続とインターネット接続環境 (別紙No.7-1)

アンプ側との接続には、音声はAF OUT コネクタとの接続になります。

接点端子は DO1~4いずれか(設定による)に接続します。



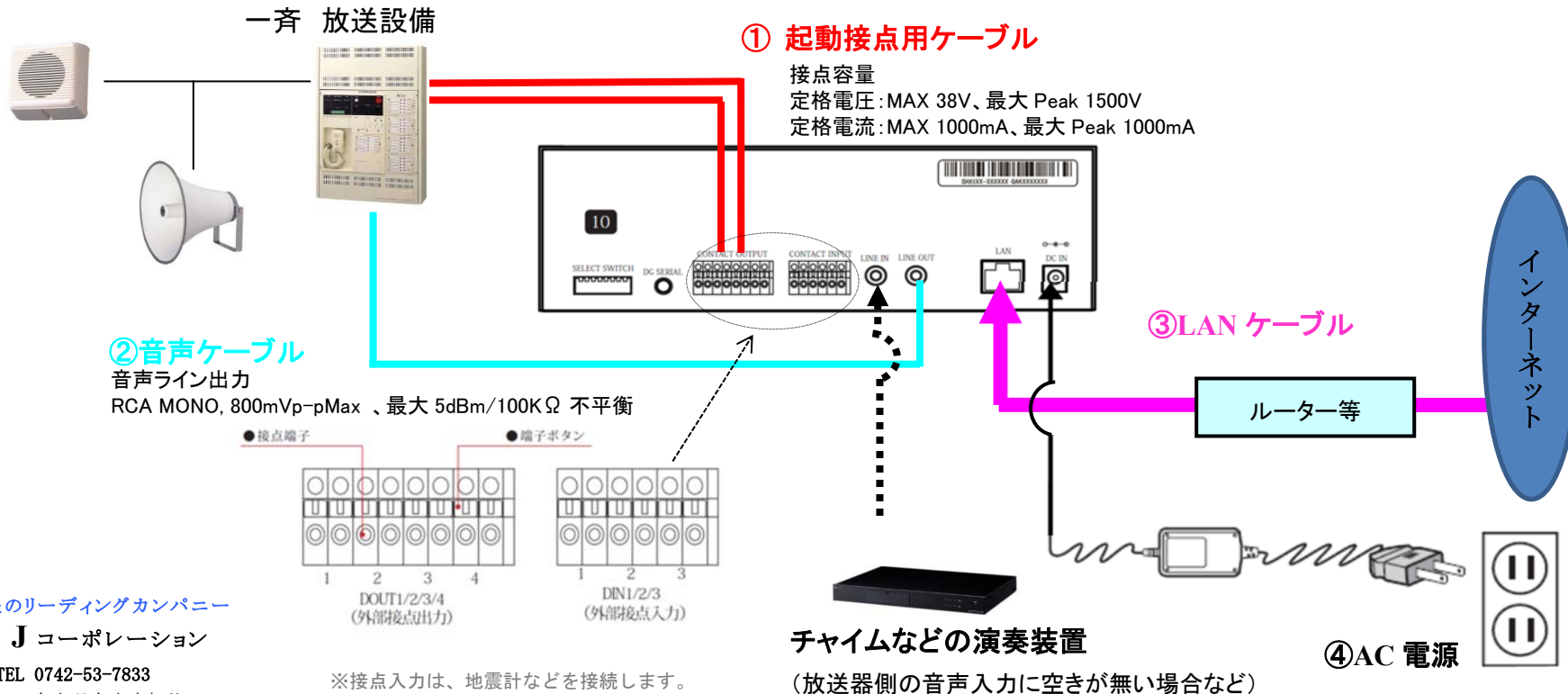
接続工事に必要なもの

- ① 接点接続用ケーブル GPEV 0.5 or 0.65 - 2P 相当(単芯)、AWG26 ~ 20 の範囲
- ② 音声ケーブル RCA-PIN 付音声シールドケーブル相当  
(放送アンプ側端子に合わせて用意してください)
- ③ LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル  
(設置場所までの距離が必要です。)
- ④ AC100V 電源 100V 60/50Hz (設置場所付近に必要です。)
- ⑤ 機器設定用パソコン **本体の設定には、パソコンが必要です。**
- ⑥ 設定用LANケーブル ストレートケーブル

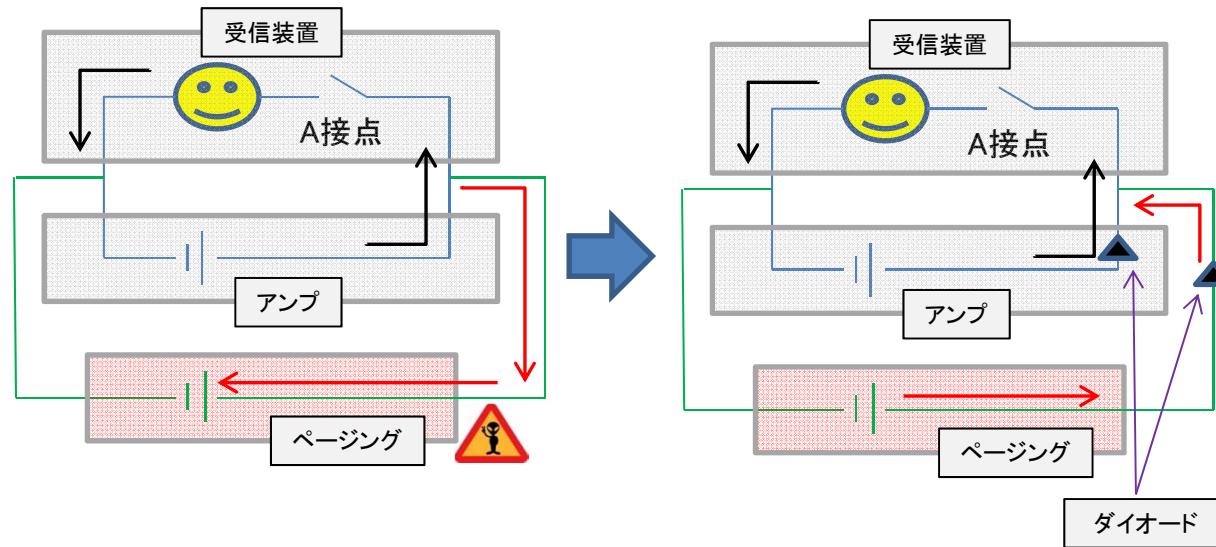
## ルーター(ゲートウェイ)の通信環境

- ・インターネット回線: 光・ADSL・CATV
- ・LAN 端子: RJ-45 カテゴリー5 以上 1 ポート
- ・ルーター: 必要
- ・インターネットプロトコル: Ipv4 自動 IP 取得の場合は、DHCP サーバーが必要
- ・セキュリティポート・ポリシー: TCP: 80・9001 LAN⇒WAN開放  
UDP: 53 LAN⇔WAN双方向開放
- ・通信速度: 接続ポートより、ストレスなくインターネットが閲覧出来るのであれば安全に利用出来ると判断致します。
- ※受信端末用に、専用回線を準備する場合には、プロバイダー契約をお忘れにならないよう、ご注意ください。
- ※緊急地震速報 配信サーバー側のグローバル IP アドレスが必要な場合は弊社までお問合せ下さい。

※ 本体サイズ W220mm x H69.2mm x D220mm(突起部除く)



【注意】同一接点を複数利用する場合（平行接続）には注意して下さい。（別紙No. 7-2）



接点出力の平行接続をすると、1つの接点で2つ以上の機器を制御出来るというメリットがありますが、機器によっては回路ショート、逆電流によりページングなどを壊す場合がありますのでご注意ください。対応方法として、電流逆流防止のダイオード等を入れる必要がありますが、この場合であっても2つの機器の電圧差が大きいと機器を壊すリスクもあるのでご注意ください。

弊社では、1系統の入力を3系統の出力に分配する**接点分配器**を使用することをお勧めします。詳細は弊社にお問い合わせ下さい。



総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション 総合窓口 0742-53-7833

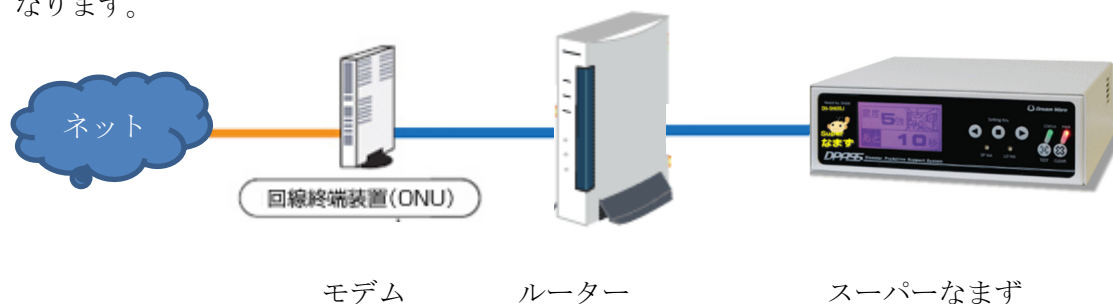
業務管理センター 奈良県奈良市押熊町557-7 4F

2版 190415

# 光回線ご使用時のご注意 (別紙No. 7-3)

ネットワークセキュリティ上、社内LANとは別にNTTやその他プロバイダーへ光回線を申し込まれてご使用される場合には下記の点にご注意をお願い致します。

1. 弊社の高度利用型緊急地震速報受信機をご利用になる場合にはルーターが必要になります。



2. ところが、一般的にNTTやその他のプロバイダーは上記のONUというモデムまでしか準備してくれません。ルーターは自社で購入するか、別途NTTへレンタルまたは購入の申し込みを行う必要があります。

弊社の高度利用型緊急地震速報受信機 スーパーなまずを単独の光回線でご利用頂く場合は必ず、回線に上記のONUとルーターが接続されている事をご確認願います。

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター

奈良県奈良市押熊町 557-7 4F